

第5期

昭和13年10月3日～昭和17年10月2日 [昭13.10.3選挙執行] 定数40名

この期の 主な出来事

- *日独伊三国同盟調印（昭15.9）、太平洋戦争勃発（昭16.12）
- *円山町と合併（昭16.4）、第5回国勢調査 人口206,103人〈函館市を抜き全道一〉（昭15.10）

議員会の推移

本市議会に議員会が設置されたのは昭和15年10月。当時の議員会は教育、水道交通などの6部会を設置、さらに各部会から1名ずつの幹事を選出して役員会を結成し、議会運営委員会の役目を果たしました。
その後22年には議員協議会と改称、26年には再度議員会と改称するとともに議員の親睦団体とし、今日に至っています。



第5期市会議員
(昭和12年3月建設の庁舎前で撮影)



帝室林野局北海道林業試験場設置
〈豊平5条13丁目〉(昭16.6)



行幸記念聖恩碑竣工〈大通西5〉
(昭14.4)
天皇行幸のため景気が回復し、道路も整備されました。



札幌通信局庁舎新築落成
〈大通西2〉(昭14.3)

第6期

昭和17年10月3日～昭和22年4月29日 [昭17.10.3選挙執行] 定数44名

この期の 主な出来事

- *ポツダム宣言受諾し無条件降伏（昭20.8）、日本国憲法公布（昭20.11）
- *進駐軍司令部が設置される。（昭20.10）

市会(大正11年～昭和22年)

大正11年の開設以来、昭和22年に地方自治法が施行されて市議会に改称するまで、市会は176回開会されました。
会期は延べ1,004日間、このうち本会議開会は421日間で、総議決件数は2,305件に及んでいます。
市会開設当時の人口は127,044人、議員数は36人でしたが、昭和22年の地方自治法施行時には人口は259,602人、議員数は44人でした。

食糧確保のため議員が出張

終戦後の食糧事情はあらためて述べるまでもなく極度に悪いものでした。
昭和20年11月の第4回臨時会では、市民の主食糧の確保と円滑配給に関する意見書を可決、これを道庁長官に送付しています。
また、11月23日には緊急議員会を開会、食糧供出を督励するために議員の出張を決定。年末を目前に控えて市民の食糧確保に懸命でした。

一面イモ畑の大通公園

ひっ迫した食糧難に対処するため、昭和19年2月の通常会で「大通その他空地の菜園化に関する件」を建議、大通公園や学校などの空地を片っ端から掘り起こし、イモをはじめとする野菜畑にしました。
また、フキ、ワラビ、ゼンマイなどの野草を食べようという呼び掛けに、小学生たちは野草摘みに動員されるなど、市民も食糧確保に総力を挙げました。



第6期市会議員



北海タイムスほか道内10紙が統合、
北海道新聞社設立〈北1西3〉(昭17.11)



電気局〈南2西11〉を交通事業所〈現交通局〉
と改称(昭18.1)

物資不足による運休、吏員の待遇問題などで市民の注目を集めた市電気局は、機構を縮小し、市交通事業所と名称を改めました。